

## 室蘭通信

大変長らくご無沙汰しております。室蘭日鋼記念病院、初期研修医の西越です。4月1日から研修医として働き始めました。すぐに手紙を書こうと思っていたのですが、そんな時間は一秒もないほど激しいスタートを切りました。最近ちょっと時間ができてきたので一報を。

右も左も分からない、完全に白紙の状態、4月と5月は最も過酷と言われている外科研修をしました。毎日朝6時45分頃始動し、ほとんどノンストップで24時をまわる生活でした。基本的に一日1食夜中1時頃食べる感じで、土日もなく、ひたすら過酷でした。2ヶ月の間に4例の執刀医をさせて頂き、大変勉強になりました。忘れもしない4月7日の日曜日。外科勤務5日目です。勤務が終わって帰ったのが0時半頃。2時頃電話で呼ばれて虫垂炎いるけどやるか？と聞かれ出陣。4時から6時半まで初執刀の手術をした後、そのまま月曜日が始まりました。そんな生活でも慣れるもので、だんだん体が動くようになって来ました。手術が少ない時は早く終われたりして、そんな時は飲みに行きます。

翌日の手術が大物で明日は徹夜だなという状況で23時頃仕事が終わった日があって、普通なら早く帰って寝ないと明日つらいと考えますが、明日は確実に飲みに行けないから今から飲みに行こうという話になりました。とにかくエネルギーがすごいです。室蘭は意外に飲食店が多くて、外食は楽しみの一つです。こちらに来られる際は一報下さい。羊のタンを食べに行きましょう。

6~7月は消化器内科を回りました。主に内視鏡をしていました。完全に一人で行って、説明もして帰すと1件にカウントされますが、130件やらせていただきました。内視鏡の検査がこんなにきつかったっけと文句を言われることも有りましたし、今までで一番楽だったと言われることも有りました。

今は小児科を回っています。赤ちゃんとか子供が一番苦手だったので、苦手を克服しようと選びました。NICUで1500gの新生児とか700gの新生児とかを見えています。聴診器を当てるだけで呼吸、心拍が止まったりするので、初めは触るのも怖かったですけど慣れてきました。かなり小さいのを扱っているので幼児、学童は大きいと感じられるようになって、今は救急の当直をやっている大人より小児の方が扱いやすいと感じています。選んで良かったです。来月から3ヶ月間麻酔科を回ります。手術室で麻酔をかけまくる日々が始まります。

別海も色々あったようで、テレビに出てたのを見ました。回診中に患者さんが見ていた夕方のニュースで知った顔がでていて驚きました。懐かしかったです。

獣医出身のおじさん研修医ということで、色々話のネタにされたりします。犬の相談が多くて困ります。牛のこと相談して欲しいですが、誰も牛は飼ってないみたいです。聞かれたら獣医の仕事のほうが面白かったと言ってます。向き不向きの問題ですけど、私は箱の中で一日中過ごすのはきついです。夏は日差しに焼かれ、冬は寒い。自然の中で働くほうがよっぽど楽しかったですね。今のところ医者としてほとんど裁量権がない状態で、重い病態の患者に対しては何かする能力も無いし仕方がないです。そのうち病院内を自由に飛び回ってみせます。窓の外、天気の良いのを羨ましく思いながら頑張ってますよ。特に何も書くこと無いままここまでたどり着きました。割りと元気に頑張ってますとだけ報告させていただきます。またそのうち室蘭から一報いれます。

西越